



一般社団法人 愛媛県中小企業診断士協会 〒790-0003 松山市三番町 4-8-7 第 5 越智会計ビル 1 F  
発行人：会長 上田 保 TEL：089-961-1640 URL：http://shindan-ehime.com  
編集：広報委員会 E-mail：shinai@shindan-ehime.com

 目 次

- ◆会長挨拶（上田保） ..... 1
- ◆同じ誕生日の人がいる確率は思ったより高い（森田正雄） ..... 2
- ◆【私見】による県内における診断士を取り巻く環境変化（矢野幸治） ..... 4
- ◆企業視察研修（令和元年度）～山陰～（一ノ宮康嗣） ..... 5
- ◆ご挨拶および自己紹介（松岡由紀子） ..... 6
- ◆入会のご挨拶（山内慎一） ..... 7
- ◆お知らせ（事務局） ..... 8



会 長 挨 拶

会長 上田 保

会員の皆さま、明けましておめでとうございます。昨年は協会活動にご協力頂きました。心よりお礼申し上げます。

年号が令和となり、新年度がスタートしました。多くのビジネスモデルが淘汰され経営環境が激変した平成から、令和は第4次産業革命が本格化し新たなビジネスチャンスが生まれようとしています。また、国の進める働き方改革に関連した業務効率化・生産性向上も中小企業にとって喫緊の課題となっています。

野村総研とオックスフォード大学との共同研究で、AIの進展でも生き残れる資格として中小企業診断士はトップレベルで位置付けされ、我々の活躍の場

は益々広がっていくものと思われま。時代変化に合わせた経営改善・経営革新は我々中小企業診断士の今後の大きな支援テーマであり、当協会でも取り上げていきたいと考えています。



今年も当協会自立化に向けた受注案件の掘り起こしのための活動を進めて参ります。愛媛大学での講座開設も実現し、来年度からは単位取得講座に格上げされます。愛媛大学との共催で「大学発ベンチャービジネス支援のあり方」のテ

ーマで「中小企業診断士の日」イベントを開催し、同大学との連携は益々深まっています。

さらに、(公財) えひめ農林漁業振興機構・えひめ農業経営サポートセンターや、愛媛県漁業協同組合連合会との連携事業も本格的に進めて参ります。それぞれ、農業者・漁業者への経営手法を取り入れた経営改善や担い手育成への支援が要請されており、当協会の収益事業の拡大が期待されるところです。

組織面では、県内の新規会員登録に合わせ県外からの新規会員も増加し、若返

りが進んでいます。新規事業も若手会員の活躍があり順調に推移しています。しかし、昨年も申し上げましたが、協会活動は地道なものの積み重ねが成果となって表れるものだと思っています。つまり、日頃の活動が重要であり、そこに多くの会員が関わることで事業が動くこととなります。事業案件ごとに皆さまにご協力をお願いすることとなりますが、これまでと同様、協会運営にご理解とご協力を賜り、ぜひ本年も協会活動に積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。



## 同じ誕生日の人がいる確率は思ったより高い

副会長 森田 正雄

創業社長で創業以来何十年も社長をしている人は、経験豊富で勘が鋭いといわれています。あなたの勘は正しいのか、自信がありますか。

これから、確率に関する面白い話題を紹介します。

この考え方を学ぶことで、世の中で起こる様々な事柄が、本当に稀にしか起こらない事なのか、思ったよりもしばしば起こることなのか、理論的に判断することができるようになるでしょう。

以下のコラムは、海南タイムズ 2019 年 11 月 25 日号「経営者・後継者のための数学入門」第四回「同じ誕生日の人がいる確率は高い」から転載しました。

### ●「鳩の巣論法」とは何か

今ここに「七羽の鳩」がいて、「七個の巣箱」があります。

「鳩」は、それぞれ自分の「巣箱」を決め、中に入っていきます。

もちろん、「一つの巣箱」に二羽入る場合もあれば、七羽全部入る場合もあるでしょう。

こうして、「鳩」と「巣箱」の数の関係を考えてみると、面白いことに気づきます。

鳩の数が巣箱よりも一羽多い、八羽いる場合は、どの巣箱か分からないが『「少なくとも」一つの巣箱には「二羽以上」の鳩がいる』ということになります。

このような考え方を「鳩の巣論法」と呼びます。

### ●誕生日と鳩の巣論法

「鳩の巣論法」を用いて、同じ誕生日の人が、どのくらいの割合で見つかるか、調べてみましょう。

問題を単純化するため、一年は 365 日で閏年ではないとします。

この条件で、「鳩の巣論法」から導かれる結論は、「366 人の集団の中には、少なくとも一組は同じ誕生日のペアがいる」です。

頭を使って考える前に結論が出てし



まうのが、この鳩の巢論法の特徴で、この論法が如何に強力であるかを物語っています。

しかし、これはまだ驚くほどの結果ではありません。

●同じ誕生日の人がいる確率

同じ誕生日の人が、ある人数の中にいるのか、いないのかという問題です。

ここでも、365 個の「巣箱」を考えるとうまくいきます。

そして、この問題を解く場合の常套手段は、誕生日が同じ人がいる確率を求めるのではなく、「その反対」を調べるのがコツです。

即ち、全員の誕生日が異なる場合を求めて、それを全体である 1 から引き算をするのです。

●二人の誕生日が異なる確率

まず、あなたの誕生日を頭に描いて、あなたの誕生日に対応する部屋に入ります。

例えば、四月二十九日生まれであれば、横一列に並んだ 365 の部屋の四月二十九日に入ります。

さて、もう一人の誕生日ですが、あなたと異なる誕生日となるためには、残りの空き部屋 364 室のいずれかでなくてはなりません。

初めの方は、自由に誕生日（部屋）を選べるので、その確率は  $365/365 = 1$  となりますが、二人目の方は、 $364/365$  の割合でしか、誕生日を選べません。

従って、両者が異なる誕生日である確率は、この二つの事柄が同時に起こる時なので、両者の確率を掛け算して求められます。

従って、二人の誕生日が偶然一致する確率は、全体の 1 から引き算して、求めることができます。

同様に、三人の場合、誕生日が異なる割合と、誕生日が同じになる確率は左図のようになります。

<b>【二人の誕生日が異なる割合】</b>	
$\frac{365}{365} \times \frac{364}{365} = \frac{364}{365} =$	0.99726027397
<b>【二人の誕生日が同じになる確率】</b>	
$1 - 0.99726027397 =$	0.00273972603
<b>【三人の誕生日が異なる割合】</b>	
$\frac{365}{365} \times \frac{364}{365} \times \frac{363}{365} =$	0.99179583411
<b>【三人の誕生日が同じになる確率】</b>	
$1 - 0.99179583411 =$	0.00820416589

二人と三人の場合、同じ誕生日である確率は、1%にも満たない非常に低い数値になります。

以下、同様に計算を続ければ、与えられた人数の中で同じ誕生日のペアが少なくとも一組存在する確率を求めることができます。

ところが、この確率計算は、その後、大変意外な極めて興味深い進展を示すのです。

計算結果は省略しますが、驚くことに僅か 2 3 人の集団で既に 50% を上回る確率で同じ誕生日の人が存在することが分かるのです。

32 人の集団では 75% 以上の確率に、59 人の集団では 99% 以上の確率になります。

●ラグビー日本チームの誕生日

参考までに、先日、大会が終了したラグビーワールドカップ 2019 日本代表メンバー（ヘッドコーチを含む）32 名の誕生日を調べてみました。

すると驚いたことに、同じ誕生日のペアが 3 組も存在することがわかりました。

- ① 1 月 1 1 日生まれ
  - ・ピーター・ラブスカフニ
  - ・アマナキ・レイ・マフィ
- ② 7 月 2 0 日生まれ
  - ・具 智元
  - ・ウィリアム・トゥポウ
- ③ 1 1 月 2 1 日生まれ

- ・ジェイミー・ジョセフ
- ・茂野 海人

つまり学校のクラスが40人いれば、一組ぐらい同じ誕生日の人がいても驚くことはないのです。

●参考文献

「虚数の情緒」東海大学出版部・吉田武著・2000年2月20日第1版第1刷発行



【私見】による県内における診断士を取り巻く環境変化

矢野 幸治

創業してあっという間に四半世紀が経ちました。まだまだ修行中の身ではありますが、後輩診断士やこれから本気(マジ)の診断士を目指そうと考えている方々へこれからの話が一助にもなれば幸いです。

ところで長くこの仕事だけをやっておりますとその時々で業務内容に大きな環境変化を感じる事があります。それを小生の拙い経験の中で時系列に少しばかりお話を・・・

創業当初、約20年以上前は今日では当たり前前の言葉の「支援」が「指導」の時代でありました。かなり“上から目線”です。

この時代まさに診断士は【オールラウンド】診断士の時代、特に地方では【プロフェッショナル】では中々飯が食えないイメージで「なんでもできる・する」診断士が重宝される時代でした。私は思いつきで独立したので特に得意技もありませんでしたが、たまたま久米窪田のある行政マンとの出会いもあり今日があります。特に協会からは仕事がどんどん舞い込む事はなく、個別に人脈を通じて個別に稼ぐという個人の人気度優先の時代だったと思います。

その後、21世紀に入ってそこで新しい政権のもと例の中小企業支援は【選択と集中】路線へ【勝ち組負け組】の概念が導入されてゆくわけで診断士も本気度が求められる「プロフェッショナル」の時代が始まりました。その当時は、企

業へのコンサルは地元診断士を活用するというより都市圏のメジャーなファームが対応しているケースが多かった気がします。そこで診断士は行政との付き合いが大事だなと改めて感じたものでした。しかし補助金が削減される中で民間との付き合いの必要性を感じ、その参入の為の戦術をここでは必死で考えましたがここでもたまたま人脈に恵まれ、それを実現するチャンスを得る事ができました。多分皆様もそうした“たまたま”“知己を得る”事があると思います。



しかし時代は着実に変化し過去の“たまたま手法”が役に立つとは思いません。特に1億総活躍や働き方改革、最低賃金の向上など労務面に大きく光が当たっている企業経営支援において中小企業・小規模事業者の更なる選別が始まり過去とは支援手法は大きく異なってしまうでしょう。

そうした環境下、愛媛の協会活動は将来を見据えて会長・副会長以下、会員諸氏のご尽力により様々な機関からの業務受託が増え、各会員へ優先的に業務の振り分けが実現され大学・組合と他協会との密な連携が実施されています。その効果も表れており、将来的にも協会活動はますます活発化される事でしょう。

先日私は「診断士の日」愛媛大学の講

演会でパネラーにお呼びいただき久しぶりに大学の構内を歩き自由な雰囲気を楽しませていただきました。

そうした活動を通じて診断士のイメージ向上は遅々ではありますが着実にあがっていると感じます。感じない人は感じる努力をお願いします。

とにかくたまたま(?)合格した診断士の資格者が、たまたま協会に存在しているわけでもあり、何もしなければ会費を払うだけです。せっかく愛媛の協会を知り合った様々な種族のメンバーで何か事をなすことができれば、おもろいなどは常々思っております。“E-出会い!”だけに感謝ですな。



## 企業視察研修（令和元年度）～山陰～

一ノ宮 康嗣

令和元年11月10日から12日まで2泊3日での愛媛県中小企業診断士協会の企業視察に参加させていただきました。

1日目の親睦・観光を中心とした行事のあと、2日に境漁港を見学いたしました。我が愛媛県も水産業は主たる産業の一つです。最新鋭の漁港施設、卸売市場を見学しながら、今後の支援に活かすべく知識等の習得を行いました。

3日目には雲南市役所、おちラボをそれぞれ見学いたしました。雲南市役所では職員の方2名から雲南市役所での地方再生の取り組みについて聞かせていただきました。雲南市は、県庁所在地の松江市、出雲大社で有名な出雲市の南方向にあり、人口約4万人、面積約550km<sup>2</sup>で、愛媛県で言えば海のない西予市のイメージです。そのような環境の中で「命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」「課題解決先進地」への基本理念のもと「安全・安心」「活力と賑わい」「健康長寿・生涯現役」の実現を市のめざす姿として「人口の社会増」への挑戦をかかげて市全体で取り組んでいることをお聞きして大変感銘を受けました。私も現在、「未・来」Jobまつやまの一員として、地方創生の一役を担わせていただいておりますが、雲南市に負けないように頑張っていきたいと思っております。

また、2日目は玉造温泉の佳翠苑好皆美に宿泊し、温泉で日頃の疲れを癒やしました。また、当日の宴会では、地元島根県中小企業診断士協会の会員の皆様との親交も図ることができました。料理も大変美味しかったです。島根県信用保証協会の2名様による余興も大変見応えがあり、有意義なひとときを送ることができました。



私はこの12月で独立して3年になりますが、1年目の東北から始まって、前回の高知（宿毛）、今回の山陰の視察研修に参加させていただいております。それぞれに「行って良かった」と思える視察研修ばかりです。また、参加される診断士の方々の違った一面を見ることができる研修でもあります。

最初は思いつきにくいところはある

かもしれませんが、1 度参加されると次からは参加しやすくなります。今回は、より多くの方と視察研修が出来ること

を楽しみにしています。是非参加して下さい。



## ご挨拶および自己紹介

松岡 由紀子

みなさま初めまして。2019 年 7 月に約 30 年ぶりに東京から愛媛へUターンし、同時に東京（城南支部）から愛媛の協会に移籍させていただきました松岡由紀子と申します。中小企業診断士は 2002 年度の登録です。どうぞよろしくお願いいたします。

### <職歴>

東京では 19 年間エネルギー会社に勤務しており、技術開発企画部・人事企画部・営業技術企画部など「〇〇企画」という部門にありがちな「なんでも屋」「各部門間の調整」「会議の事務局」「山のような書類作成」の業務を中心に過ごしてまいりました。約 5 年前に退職してからは、友達が経営する税理士事務所にて、確定申告業務や創業支援、補助金申請書作成支援を行ってまいりました。また、中小機構の中小企業大学校東京校にて、中小企業診断士養成課程での流通業実習のサブインストラクターを行うとともに、人材支援アドバイザーとして支援機関向け研修の企画も併せて行っていました。

愛媛に戻ってきてからは、学校法人の本部の職員として中期経営計画の策定や人事制度設計を行ってまいりました。前職の「各部門間の調整」のスキルが案外役に立っております。現在は、特に働き方改革対応が当面の課題となっております。教職員がやりがい働きがいを持ち、生き生きと働ける環境づくりに取り組みたいと考えております。

### <モットーなど>

好きな言葉は「不易流行」です。新しいものを積極的に取り入れることは重要ですが、同時に「変えてはいけないもの（コアコンピタンス）」をしっかりと押さえることも重要と考えております。特に、事業承継し新しい経営者に代替わりする際に「不易」を押さえきれないことがあるのを感じており、ここを支えていくのも診断士の役割だと考えております。



一方、新しいものの情報収集に関しては、世の中の様々なことに「アンテナを立てておく」ことを意識しています。ピンときた情報はすぐに調べ、できるだけ自分の目で見に行けるようフットワーク軽く動くことがモットーです。例えば新しい商業施設ができたと聞いたら、多少混雑していてもまず足を運び、コンセプトや客層などをチェックしてしまうのは趣味というか職業病というか……。東京で某ドーナツ屋さんができた際には会社帰りの冬空の中、一人で 3 時間並んだ強者です。（と、言いつつ、道後温泉の「飛鳥の湯」にまだ行けてないのは問題ですね・・・笑）。

### <今後に向けて>

今まで診断士仲間とは、一つの仕事を取合う「競合」ではなく、お互いに協力して得意分野を補完し合う「仲間」として過ごしてまいりました。愛媛に戻っ

てきてからは、また新たな人脈を構築していくこととなりますが、診断士ネタで語り合うことはもちろん大歓迎ですし、最近黒い柴犬を飼い始めましたので犬

ネタでも結構ですのでお声がけいただければ幸いです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



## 入会のご挨拶

山内 慎一

愛媛県中小企業診断士協会の皆さま、初めまして。2019 年 9 月に入会させていただいた山内慎一と申します。

生まれ育ちは新居浜市です。大学卒業後、2019 年 2 月まで住友金属鉱山株式会社という会社に約 37 年間勤務していました。診断士登録は 2011 年で、しばらく企業内診断士でしたが、定年を機に、2019 年 11 月に独立開業しました。東京に自宅があるため、東京都中小企業診断士協会に所属していますが、新居浜市に実家がある関係で愛媛県協会にも加入させていただくことになりました。家の事情でしばらく東京と新居浜を行ったり来たりになりますが、新居浜にいる間も診断士として、生まれ育った地元や愛媛の中小企業の社長様とそこに働く社員の方々のお役に立てることができればと考えています。

勤務していた会社では、法務・総務・人事関係を中心に、法的な紛争処理、海外での工場立上げ、海外の資源開発の支援等のさまざまなプロジェクトに携わりました。転勤も 10 回以上経験し、北は北海道から南は九州、さらに海を越えてフィリピンでも勤務しました。ご存知のとおり、新居浜には住友の関連企業も多いですが、私自身住友の企業に長くお世話になりましたので、少しでも地元地域社会へ恩返ししたいと思っています。

これまでの経験から、私は企業が成長していくためには経営資源のなかでも「人」が最も重要だと考えています。現在の少子高齢化の急速な進展や人手不足の環境下では、ますます「人」の重要性が高まっています。また、「人」がイキイキとやりがいを感じながら働き成長し続けるためには、会社のビジョンも大切です。もちろんビジョンの実現を支える「お金」も大切で、会社のお金の動きがしっかり目に見えるようにすることも必要です。このような考えから、私は自分のミッションを、社員の成長と幸せを大切にする中小企業の社長様のビジョン実現をサポートさせていただき、社長様に伴走しながら未来への成長エンジンを一緒に回し続けることにしたいと考えています。



最後に一言。トシとカラダはシニアですが、キモチはヤングのつもりで、これから毎年何か一つ新しいことを始めたいと思っています。ちなみに今年は、これまでほとんど行ったことのなかった落語寄席にしょっちゅう出かけるようになりました。まだ独立開業して日が浅く、物理的な制約もありますが、できる限り多く愛媛県協会の活動等にも参加させていただきたいと考えています。今後どうぞよろしく願いいたします。



## お知らせ

### 令和 2 年度（前半）の行事予定

日 程	行 事 内 容
5 月 1 5 日(金)	理事会 税理士法人越智会計事務所
6 月 1 1 日(木)	定時総会 東京第一ホテル松山
8 月 2 9 日(土)	理論政策更新研修 リジェール松山

### 編集後記

「しんあい 2020 年春号」発行にあたり、大変お忙しい中ご執筆いただきました皆様、誠にありがとうございます。

また、協会事務局、広報委員、発行に関わっていただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

今年は東京オリンピックが開催されます。世界の人々が一堂に会するオリンピックをきっかけに、日本に魅力を感じる人が増えればよいと思います。

また、日本選手を応援するとともに、他国の選手も応援し知る機会になれば、オリンピックが何倍も楽しくなると思っています。

最後に、いただいた原稿につきましては、できるだけ原文通りに掲載したいと思っておりますが、紙面や構成の都合で編集させていただく場合もございます。ご了承のほど、お願い申し上げます。

(広報委員長 西田元信)

